



建設作業に対する思いは誰よりも強い若者たちが集まっています。彼らが完成に向けて作業を行う職人たちです。着工式を終え現在行っている作業は、地面の掘り出し作業を行っています。基礎作りの根幹となる柱の部位を建設するべく均等な大きさの穴を掘っていきます。

現場監督はこの作業をいかに早く行うかで、学校の出来が変わってくるといっています。カンボジア6月から本格的な雨季を迎えるため、穴を掘り終え、セメント早く乾燥させることで、より堅固な柱を作り上げることができるといいます。時間との勝負ですが、監督は絶対にやり遂げみせると自身をもっていいってくれました。若い職人が多いからこそ、活気が溢れ作業も早急に進めることが出来るはずです。



←建設予定地に続々と  
資材が運び込まれてい  
きます。教育施設の周  
辺には重機を積んだト  
ラックが何台も行き来  
しています。



→↓体がすっぽり埋まるほどの穴を手作  
業で掘り続ける。



勉強をするためにやってきた学生た  
ちも作業の規模の大きさに目を丸くし  
ていました。職人たちは子どもたちに  
作業場に近づかないように注意しまし  
た。子どもたちは新しく出来る学校に  
通うまでは、絶対にしないと約束して  
くれました。子どもたちや周辺の家族  
や御住職も念願の学校が出来ることを  
楽しみにしてます。日本の支援者の皆  
様へ感謝してもしつくせないといっ  
ています。

どうもありがとうございます。